

## 「路線バスに乗って善光寺御開帳」

保科温泉線から 30名  
綿内屋島線から 16名



第16回の「わかほ塾」は5月15日(金)。若穂から市中心部に向かう路線バス「保科温泉線」と「綿内屋島線」に乗って善光寺御開帳+世尊院・涅槃釈迦如来(重文)+常智院・精進料理・・・にはスタッフ含め46名が参加しました。

トイゴ広場に参集したころは回向柱の前はまだ人影まばら(LIVE映像)・・・でも、10時を過ぎると様相は一変。平日でも御開帳の人出は凄いですね。それぞれ参拝後、お楽しみの精進料理 ↓ です。



本堂回向柱はすでに長蛇の列。老若男女に親しまれる善光寺(↑)



常智院の計らいで御開帳の最中でしたが46名の席を確保(←)

### 【保科温泉線・・・参加者アンケートから生の声】

- 車運転で、バス利用なくて本当に心苦しい。でも絶対残してほしい。いつも考えて下さり、ほんとうに感謝です。残してもっと沢山乗れるように。
- ◆ 各戸でいくらでもよいので負担金を出し(市の負担金を減らし)存続を願いたい。
- 年もしてくると、病院に行く場合に困ります。スーパーも無い地域なので、ぜったいにバスは必要です。ぐるりん号位に小さいバスもOKだと思います。
- 本数が減じてもよいので全廃は非常に困る。老人は過疎難民化してしまう。
- ◆ 若穂の方以外にも乗って頂けるイベント等の企画。バス路線以外でも、若穂全体の協力。
- 高齢者などの交通弱者のために路線バスは存続したほうがよいと思いますが、地元の人々がもっと多く利用するべきだと思います。
- 存続のための特別税を設けてはどうか。
- ◆ 自動車に乗れないのでバス通行です。

=====

- 本数少なくしても続けてほしい。
- 高校通学に必要なだと思います。朝・夕だけでも運行して欲しい。
- ◆ 高校生は(バス通学できることが)ありがたいと思います。
- あと1~2年で70才になります。車の免許を返して、バスで買物や通院をする生活にしようと、考えていました処、バスという足が無くなると、転居しなければならないと思います。とっても困ります。
- 運転手がない時に自家用車に乗れません。バスは大型ではなく小さなものを運行することはできないでしょうか。

### 田舎暮らしを全部盛り!

善光寺御開帳で賑わう中央通り界隈で5月16日(セントラルスクエア)、17日(歩行者天国)の両日に《移・職・住フェア》が開催され、若穂自治協も大判の「観光マップ」や四季の景観を写した「写真パネル」などを展示し、「ウエルカム若穂」をアピールしました。

Q3 今回の企画は、路線バス存続運動の一環として実施しました。今後も路線バスを利用するイベントを計画した場合、参加されますか？

1. 年1、2回なら参加してもよい→→20    2. 内容によって考えたい→→13    3. 多分、参加しない→→0

☞ 「乗って残そう！はわかるけど、なかなか乗る機会がなくてね〜」。そんな声も多く聞かれます。でも、公民館や団体の活動の中で、チョット工夫すればバスを利用するミニイベントも可能。お友達と、長野の街でショッピングにコーヒータム…なんてのもオシャレ。70歳以上なら「おでかけパスポート」も活用できます。まずは、できることから積み重ね！！

7月11日に第17回わかほ塾

『どうなる？若穂の路線バス、長野市の公共交通』

●市政出前講座として開催します●

来年4月以降の「姿」がまだ見えてこない保科温泉線…。現在市が策定中の「長野市公共交通ビジョン」から若穂の路線バス、地域の“足”を考えます。どなたでも参加OK。お待ちしております。【第17回わかほ塾は7月11日(土)PM6:30~8:30/若穂支所2F】

《組織等の見直しは9月めどに案をとりまとめ》

区長会や環境美化委員会など8団体を核にした若穂の自治協ですが、事務や事業が増大する中で組織等のスリム化・機能化を検討してきました。今年9月までに案をまとめ、全体討議に諮る予定です。

綿内のシンボル「棉」を蒔く

== 綿内未来会議の皆さん ==



雨模様の五月十六日。綿内未来会議（稲田堅郎座長）の皆さんが、旧屋代線脇の正満寺用地の一角を借用して棉のタネを蒔きました。未来会議は綿内地区の近将来像について様々な方向から検討を重ねていますが、目に見える「成果」も追及…。夢や楽しさも必要ですね（♪）

総会で決定された平成27年度の予算（歳入・歳出）は以下の通りです。

【印刷機運営特別会計】 自治協がリースし、自治区や諸団体なども利用できる印刷機の運営会計です。

歳入	758,000 円	印刷機の使用料や、一般会計からの繰入金など
歳出	758,000 円	リース料や消耗品など

◆対前年度当初予算比較で 158,000 円の増

【福祉自動車運行事業特別会計】 自治協が運行する2台の福祉自動車の運営会計です。

歳入	1,476,000 円	市社協からの公的補助や一般会計からの繰入金など
歳出	1,476,000 円	車リース料、ガソリン代、車両維持費など

◆対前年度当初予算比較で 25,100 円の増

新年度予算の概要（続）



綿内小で春季の資源回収・収益は子どもたちの教育に活用

PTA(町田匡志会長)と育成会(渡辺典昭会長)が5月17日(日)に実施。朝から役員と子どもたちが各戸から回収し、小学校の集荷場所には次から次とアルミ缶、ビン類、紙類が運び込まれました。搬入車両の誘導にあっていた町田PTA会長は「天候にも恵まれ、たくさんの資源を集めることができた。ご協力いただきありがとうございます」と感謝。教育環境整備に活かされる収益も貴重ですが、資源の有効利用を親子で体感するのも大切なこと。次回は秋季の予定。